

Rhythm of Green

石橋文化センター情報誌 みどりのリズム

January, 2021
Vol.378

1



久留米市美術館 本館2階
生誕130年記念 高島野十郎展 1月20日から開催

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、掲載内容に関して変更場合があります。またご来園の際は、マスク着用や手洗い・消毒、咳エチケットなどにご協力お願いします。なお、発熱や体調不良の場合は、来園をお控えくださいますようお願いいたします。



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

2021年も石橋文化センター、久留米市美術館をよろしくお願いいたします。

2020年中は、市民の皆様をはじめ、広域から多くの皆様に石橋文化センターにご来園いただき、厚くお礼申し上げます。2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で、石橋文化センターのご利用において、皆様にはご不便をおかけしてきました。

美術館では、公益財団法人石橋財団の支援を受け開催した「日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ショパンー200年の肖像」を会期途中の3月1日で終了するとともに、関連のコンサートや講演会も中止することになりました。5月19日の再開後は、感染症対策を講じながら、「久留米市美術館のコレクションing 絵かきになりたい!」、「白馬のゆくえ 小林萬吾と日本洋画50年」、「没後35年 鴨居玲展 静止した刻」の3展覧会を開催することができました。皆様には、来場時のマスク着用や検温、その他感染症防止対策にご協力いただき感謝申し上げます。

さて、石橋文化センターは、1956(昭和31)年4月26日に株式会社ブリヂストンの創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が「世の人々の楽しみと幸福の為に」の理念の下、郷里の久留米に建設寄贈された総合文化芸術施設です。

毎年、多くの皆様にお楽しみいただいている春のバラフェア等のイベントは中止しましたが、秋からは、園内等においても感染症防止対策を講じ、石橋文化センター全体をひとつのミュージアムと捉えた活動を展開しました。400品種2600株の秋バラの見ごろや、イチヨウやカエデ、ケヤキなどの木々の色づきに合わせ、ガーデンコンサートや「光のアート」と題したライトアップを施し、昼間の秋の魅力と、秋の夜長の光の空間を堪能していただけるよう取り組みました。また、12月にはクリスマスイルミネーションを開催しました。このような取り組みに際し、協賛企業、団体の皆様をはじめ、友の会の皆様に多大なるご支援をいただいていることに深く感謝いたします。

2021年は、久留米市美術館が開館して5周年を迎えます。1月20日からは、高島野十郎の故郷・久留米で10年ぶりとなる待望の回顧展「生誕130年記念 高島野十郎展」を開催し、いまだ多くの謎に包まれた野十郎の絵画の世界をご紹介します。また、9月には、公益財団法人石橋財団の支援を受け、「開館5周年記念 九州洋画Ⅱ：大地のカーBlack Spirits」を開催し、大地の持つ内発的なエネルギーを感じさせる作品を紹介し、力強く魅力的な九州洋画の系譜をたどります。

2021年も、石橋文化センター、久留米市美術館へのご来場を心よりお待ちしておりますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

公益財団法人久留米文化振興会 理事長

久留米市美術館館長 檜原 利則

春の園内で次々に見頃を迎える花々をお楽しみください。

初春の園内では日本庭園周辺のウメが開花し、一年の始まりを告げてくれます。花壇では、スイセンやポピーが咲き始め、次第に園内が花で彩られます。

3月になるとツバキやサクラが開花し、チューリップもみどりのリズム像や美術館周辺など、園内各所で咲き誇り、花壇が色とりどりに染まります。

春は一年で最もたくさんの花が楽しめる季節です。園内のカフェ&ギャラリーショップ楽水亭でも、春の花にまつわるメニューをご用意して皆様をお待ちしております。

うららかな春の日に、ぜひ園内散策をお楽しみください。



■ ウメ 〈見頃 2月中旬～3月上旬／140本〉



■ ツバキ 〈見頃 3月上旬～下旬／260品種1,500本〉



■ サクラ 〈3月下旬～4月上旬／5品種150本〉



■ チューリップ 〈見頃 3月下旬～4月下旬／20品種13,000本〉

ミュージアムコンサート ～Winter Classic～

1月21日(木) 14:00開演(13:00開場) 石橋文化ホール

九州を中心に、幅広く活躍する3名の演奏家が集い、個性豊かな音色で魅了します。
 併せて、久留米市美術館本館2階で開催の展覧会「高島野十郎展」をぜひお楽しみください。

演奏予定曲 M.d. ファリャ : スペイン舞曲
 C. ドビュッシー : 月の光
 中西 弾 : 星色

出演



中西 弾
 (ヴァイオリン)
 福岡教育大学音楽科
 芸術コース卒業。第10
 回宮日音楽コンクール
 にて優秀賞を受賞。川
 口千穂、故松村英夫、
 松野弘明、豊嶋泰嗣の
 各氏に師事。

長崎OMURA室内合奏団団員。



榎元 圭(ピアノ)
 福岡教育大学大学院
 演奏学修了。ピアノを和
 田悌氏、声楽を原尚志
 氏、和声を内山信氏に
 師事。これまでにNHK
 交響楽団・篠崎史紀氏、
 藤村俊介氏、ヤンネ館
 野氏らを始め、NHK交

響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等の管弦楽
 器奏者と共演。



納富 沙弥香
 (パーカッション)
 福岡県出身。パーカッ
 ション、ティンパニ、マ
 リンバを関修一郎、神
 谷百子、中谷孝哉、樋
 口睦美の各氏に師事。
 現在、フリー奏者とし
 てプロオーケストラ、吹

奏楽団のエキストラ出演や演奏指導等を行う。また、
 MC・タレント・モデル業も行っている。

入場料

一般1,000円、シニア(65歳以上)700円、大学生500円、高校生以下無料 全席自由

※みゅ〜ず会員は無料もしくは割引価格でご入場できます。なお、入場料には「高島野十郎展」入館料を含みます。

チケット販売・問合せ

石橋文化センター TEL0942-33-2271/FAX0942-39-7837(受付9:00~17:00、月曜日、年末年始12/28~1/4は休館)
 情報サテライト TEL0942-36-3080(受付10:00~18:00、臨時休館日、年末年始12/29~1/3は休み)

『生誕130年記念 高島野十郎展』を楽しむ講座

1月27日(水) 14:00開講(13:00開場) 石橋文化ホール

1月20日(水)から久留米市美術館本館2階で開催される展覧会『生誕130年記念 高島野十郎展』(P.4参照)
 について、担当学芸員が展覧会にまつわるエピソードなどをお話しします。受講の皆様は展覧会を無料でお楽し
 みいただくことができます。

講師 中山景子(久留米市美術館学芸員)

受講料 一般 1,000円(ミュージアム会員 無料、スタンダード会員 500円) ※入場料には「高島野十郎展」入館料を含みます。

申込み 石橋文化センターへ要予約(TEL0942-33-2271/FAX0942-39-7837)

※お名前、ご連絡先、(会員番号)をお伝えください。※受付9:00~17:00、月曜日・年末年始12/28~1/4は休館



ヴァイオリンリサイタル 石田 泰尚の世界

2月28日(日) 14:00開演(13:00開場) 石橋文化ホール

自由であり大胆。圧倒的な存在感を放つ炎のヴァイオリニスト・石田泰尚。音楽の殿堂、石橋文化ホールでのリサイタルをぜひお楽しみください。

出演



石田 泰尚(ヴァイオリン)
 神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時
 に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマス
 ターを経て、2001年より神奈川フィルハーモニー管
 弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈
 川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマ
 スターとしてその重責を担っている。
 2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサ
 ートマスターを兼任。

演奏予定曲 M.ラヴェル : 亡き王女のためのパヴァーヌ
 C.ドビュッシー : 亜麻色の髪の乙女
 F.クライスラー : 美しきロスマリン、愛の悲しみ



中島 剛(ピアノ)
 東邦音楽大学を首席で卒業。第64回読
 売新人演奏会出演。1996年からハンガ
 リー国立リスト音楽院に学ぶ。
 現在、東邦音楽大学講師。

J.マスネ : タイスの瞑想曲
 A.ピアソラ : アディオス・ノニーノ 他

入場料

全席自由 一般2,000円・大学生以下1,000円(当日各500円増、学生券は文化センター窓口購入のみ取り扱い)

(チケット販売中) メンバーシップ「みゅ〜ず」会員は電話予約可。また入場料(チケット)10%割引(同伴者1名まで)。※入場料には「高島野十郎展」入館料を含みます。

プレイガイド

石橋文化センター(0942-33-2271)/情報サテライト(久留米シティプラザ2階・0942-36-3080)/木下楽器店(0942-38-1111)/
 チケットぴあ(0570-02-9999・Pコード189-944)/ローソンチケット(0570-084-008・Lコード82691)

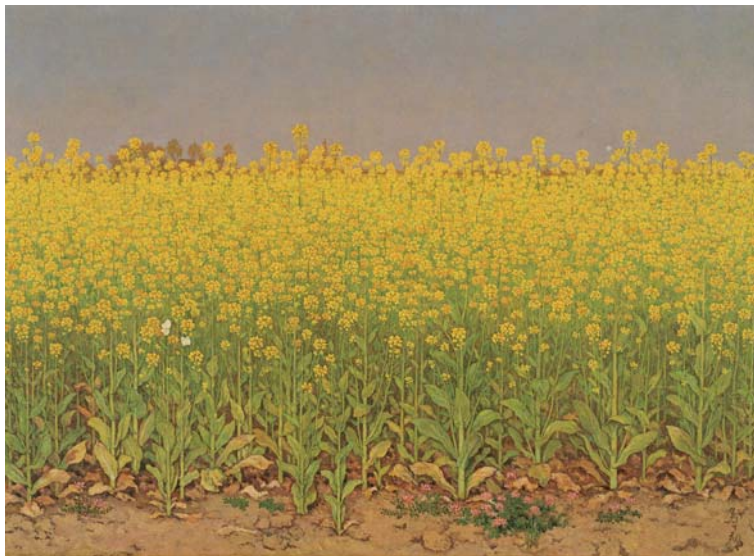
本館2階

生誕130年記念 高島野十郎展

1月20日(水)——4月4日(日)

高島野十郎(1890-1975)は、福岡県久留米市に生まれ、東京帝国大学農学部水産学科を卒業後、念願だった画家への道を選びました。その孤独と旅を愛した生涯と、徹底的な写実による独自の絵画は、没後に光があてられ、今日では幅広い人気を得ています。

生誕130年を記念して開催する本展は、野十郎の生まれ故郷である久留米では、2011年に石橋美術館で開催され大きな反響があった「高島野十郎 里帰り展」以来10年ぶりの、待望の回顧展。代表作を含む野十郎の豊富なコレクションを誇る福岡県立美術館の所蔵作品を中心に、近年の新発見の作品もあわせた総数115点により、いまだ多くの謎に包まれた野十郎の絵画世界の魅力をご紹介します。



《菜の花》1965年頃 個人蔵

入館料 一般1,000円(800円)、シニア700円(500円)、大学生500円(300円) 高校生以下無料

※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上

※上記料金にて、石橋正二郎記念館もごらんいただけます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額(500円)となります。

※前売券はチケットぴあ、ローソンチケット取り扱い店などにて600円で販売(Pコード685-259、Lコード86700)

関連イベント

■ 美術講座「高島野十郎の選択と決断」

要申込・聴講無料

日時／2月27日(土) 14:00-15:30(開場13:30)

講師／西本匡伸氏(福岡県立美術館 学芸員)

会場／石橋文化ホール(石橋文化センター内)全席自由

申込方法／参加希望者全員の氏名(2名まで可)と代表者の方の連絡先(郵便番号、住所、電話番号)をご記入の上、ハガキまたはFAXで申し込み。
1月29日(金)必着。応募結果は2月6日(土)までに応募者全員にお知らせします。

申込先／久留米市美術館・美術講座係 〒839-0862福岡県久留米市野中町1015 FAX0942-39-3134

作品紹介



カンヴァスの裏面に「大正9年6月」と年記がある、野十郎が29歳の時に描いた自画像です。絡子(らくす)という、主に禅宗で用いられる小さな袈裟をまとった姿で、こちらをまっすぐに見つめています。絵の前に立つと、その鋭いまなざしに射貫かれてしまうように感じられるほど、とても強い存在感のある作品です。

野十郎は十代の頃から、詩人であった兄・宇朗の影響で、禅宗に関心を抱いたといわれます。宇朗とともに、久留米市内にある梅林寺に参禅することもあったようです。

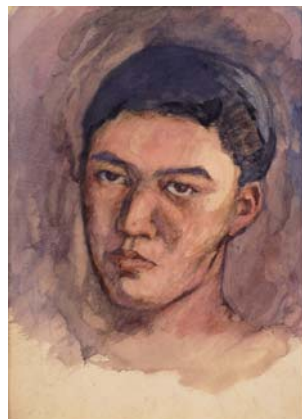
また、この自画像を描いた頃の野十郎は、東京で絵の制作に励みながら、時折同郷の松田諦晶や古賀春江などと会って、芸術論を闘わせることもありました。やがて彼らとの交流は絶え、独り個展のみを発表の場として制作に励んでいきますが、この自画像には、そうした野十郎の断固とした意志の強さも表れています。

《絡子をかけた自画像》1920年 福岡県立美術館

画家の素顔4 —————・古賀春江

久留米市美術館で所蔵する作品の作者についてご紹介するコーナーの4回目。青木繁、坂本繁二郎につづき、古賀春江をとりあげます。

古賀春江は、明治28(1895)年6月18日、久留米市寺町の浄土宗寺院善福寺に生まれました。お寺の長男ですので、本来ならお坊さんになるはずでした。実際、二十歳のとき僧籍



古賀春江《自画像》1915-16年頃
石橋財団アーティゾン美術館
僧籍に入った頃の自画像だと思われます。

に入り、本名の亀雄^{よしお}を良昌と改名しますが、そのとき呼び名を春江としたのです。古賀少年の虚弱な体質^{はるえ}を心配した両親が、健康長命を祈り、「のたりのたり春の小川」の意味をこめて、その名にしたそうです。

古賀はその名前のせいで、女性とまちがわれることもありましたが、「温しい女性的な気持が画の上に出てゐると思ふ」という展覧会評も見られます。「はるえさんという娘が入選してネ、その絵がまた素敵に出来がいいんだヨ」と津田青楓さんが目をほそくして云ったもんだ。それがあとになって堂々男子だとわかって、『ナーンのこった!』とがっかりした、というゴシップを生んだりした」と、友人の中川紀元が伝えています。津田青楓も中川紀元も、古賀が所属した洋画団体・二科会の先輩にあたります。



古賀春江

久留米市美術館ホームページ内のフェイスブックでは、コレクションを音楽とともに楽しむ映像を公開しています。ぜひご覧ください。

本館1階 | 展覧会スケジュール ■ 第42回 久留米市シニアアート展 2月11日(木・祝)～2月14日(日) 入場無料

高島野十郎展開催記念 楽水亭 新春企画

1. 新春プレゼント(2021年1月5日～7日)

楽水亭カフェご利用の方に、高島野十郎展招待券または高島野十郎絵はがきを進呈します。
各日それぞれ先着20名様。

2. ミュージアム福袋販売(2021年1月5日～)

高島野十郎展のペア招待券やミュージアムグッズが入ったお得な福袋を限定30セット販売。
価格3,000円(税込)※予定数になり次第終了



福袋内容の一例

石橋正二郎記念館 SHOJIRO ISHIBASHI MEMORIAL MUSEUM

郷里久留米の発展に尽力した石橋正二郎の歩みやひとなり、正二郎によって建設寄贈された石橋文化センターの60余年の歴史を紹介しています。

同館展示室の奥に設置されたガラスケース内には、石橋正二郎ゆかりの作品が展示されています。ここは年に数回展示替えをしており、1月20日(水)からは「正二郎と松田諦晶」のテーマで久留米時代の正二郎と松田諦晶の交流を、松田の日記を通して紹介します。

入館料 一般・シニア・大学生300円 高校生以下無料

休館日 月曜日、12/28～2021/1/19 展示替え及び年末年始のため休館いたします。

※久留米市美術館主催展覧会のチケットをお持ちのお客様は無料で入館できます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額(150円)となります。



松田諦晶《自画像》1929年
石橋財団アーティゾン美術館

ホールイベント情報 HALL EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、催事の中止・延期など変更の場合がございます。詳細は主催者・問合せ先へご確認ください。

石橋文化ホール		市民ギャラリー「みゆへず」	
10(日) 16(土) 31(日) 10:00 - 21:00	ちょっと気軽にスタインウェイ ～スタインウェイピアノを弾こう～ 1時間3,000円 (予約制) 主 石橋文化センター tel.0942-33-2271	27(水)～ 31(日) 10:00 - 16:00 31日は15:30まで	野中生涯学習センター “みんなでアート展” 無料 問 野中生涯学習センター tel.0942-34-4996
21(木) 14:00	ミュージアムコンサート ～Winter Classic～ 全席自由 一般1,000円 シニア700円 大学生500円 高校生以下無料 主 石橋文化センター tel.0942-33-2271	9(土) 24(日) 10:00 - 21:00	ちょっと気軽にKAWAI EX 1時間2,000円 (予約制) 主 石橋文化センター tel.0942-33-2271
27(水) 14:00	生誕130年記念 高島野十郎展を楽しむ講座 (みゆへず割引あり) 一般1,000円 主 石橋文化センター tel.0942-33-2271	31(日) 13:00	新春公演 歌舞笑 劇団とんちんかんバラエティ笑 全席指定 一般3,500円 問 劇団とんちんかん事務局 tel.090-3799-5352(担当/立花)

※上記内容は12月18日現在のものです。また、上記内容については主催者が会場の申し込みをされる際に申し出られたもので、主催者の都合により変更になる場合があります。

主 公益財団法人久留米文化振興会主催事業 問 お問合せ

お知らせ

ちょっと気軽にスタインウェイ&KAWAI EX

ステージ上に設置したフルコンサートモデルのピアノを、貸切で練習利用することができます。ぜひ気軽にご利用ください！

ちょっと気軽にスタインウェイ

1月10日(日)・16日(土)・31日(日) 石橋文化ホール 料金 ¥3,000(1時間)

ちょっと気軽にKAWAI EX

1月9日(土)・24日(日) 文化センター共同ホール 料金 ¥2,000(1時間)

※利用時間は、いずれも10:00～21:00で要事前申込。(1時間単位・1日最大2時間まで)

申込み・問合せ先 石橋文化センター TEL0942-33-2271 FAX0942-39-7837

※受付9:00～17:00、月曜日・年末年始12/28～1/4は休館



スタインウェイ「D-274」



KAWAI「EX」

カフェ&ギャラリーショップ楽水亭

営業時間／10:00～17:00 場所／石橋文化センター園内 美術館東側

●美術館展覧会

「生誕130年記念 高島野十郎展」開催記念フェア

1月20日(水)～4月4日(日)

ギャラリーショップでは、高島野十郎の作品「ぶとうとりんご」や「蠟燭」にちなんで、作品をモチーフにした陶器や、蠟燭(ろうそく)・キャンドルなどの雑貨を販売します。

カフェでは期間限定のフェアメニュー「アップルパイ」をご用意します。りんごのシャキシャキ食感をお楽しみください。

テイクアウトショップでは「りんごホットサンド」を販売します(数量限定)。楽水亭オリジナルの手作りりんごジャムを使用したホットサンドはこの冬一番のおすすめです。展覧会と共に楽しみください。

●カフェメニュー

アップルパイ460円(税込)



●テイクアウトショップメニュー

りんごホットサンド250円(税込)



※写真はイメージです。

年末年始休館のお知らせ

■久留米市美術館、石橋正二郎記念館、石橋文化ホール、石橋文化会館、共同ホール、楽水亭

12月28日(月)～1月4日(月) 石橋文化センター園内は年中無休

※ただし、久留米市美術館2階及び石橋正二郎記念館は、展示替えのため1月19日(火)まで休館します。1階については、P.5をご覧ください。

■久留米市立中央図書館

12月28日(月)～1月4日(月)

■久留米市野中生涯学習センター[文化センターエリア南]

12月29日(火)～1月4日(月)

■石橋文化センター情報サテライト[久留米シティプラザ2階]

12月29日(火)～1月3日(日)

■喫茶玖留見[久留米市庁舎内]

12月29日(火)～1月3日(日)

■市民交流センター[久留米市庁舎内]

12月29日(火)～1月3日(日)

■高牟礼会館

12月28日(月)～1月4日(月)

チケット情報 TICKET INFORMATION

石橋文化センター友の会会員特典。割引マークの付いたチケットを10%割引で1人2枚まで購入可(電話予約可)。ただし、石橋文化センター窓口、情報サテライトのみ販売。



新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、催事の中止・延期など変更の場合がございます。詳細は主催者・問合せ先へご確認ください。

久留米市美術館		文化センター共同ホール	
20(水)～ 4/4(日) 10:00 - 17:00	生誕130年記念 高島野十郎展 問 久留米市美術館 tel.0942-39-1131 前売り600円 ※販売期間～1/19まで	31(日) 13:00	劇団とんちんかん バラエティ笑 問 劇団とんちんかん事務局 tel.090-3799-5352(担当/立花) 全席指定 一般3,500円
久留米シティプラザ		おりなす八女	
17(日) 13:00	令和3年九州宝生会 定期 初春能 問 九州宝生会事務局(エムアンドエム内) tel.092-751-8257(平日10:00～18:00) S指定席7,000円 A指定席5,000円 B自由席3,000円 (当日各500円増)	31(日) 15:00	立川生志 新春独演会 問 おりなす八女 tel.0943-22-5332 全席指定 一般3,000円
19(火) 18:30	劇団四季「コーラスライン」 問 劇団四季 tel.0570-008-110(平日9:30～18:00) 全席指定 S席9,900円 A席6,600円 B席3,300円	2/14(日) 14:30	永井龍雲ライブ2020「夢見旅」 問 おりなす八女 tel.0943-22-5332 全席指定 一般4,500円
城島インガットホール		大牟田ひまわりホール	
2/11(木・祝) 14:00	くらしっくフェスティバル ～2台ピアノとヴァイオリンによるコンサート～ 問 城島インガットホール tel.0942-62-2110 全席指定 一般1,500円 高校生以下1,000円 (当日各500円増)	3/14(日) 15:00	ワルター・アウアー フルトリサイタル 問 ひまわりホール tel.0944-56-2747(中尾) 全席自由 一般4,500円 中学生以下3,000円
		浪漫座	
		16(土) 14:00	原田哲男チェロコンサート 問 原田哲男チェロコンサート実行委員会 tel.090-6971-3103 全席自由 一般2,500円 (当日500円増)

※上記内容は12月18日現在のものです。販売状況により、お取扱いできない場合もございますので、何卒ご了承ください。

★石橋文化センター情報サテライト(久留米シティプラザ2階)でも文化事業チケットを取り扱っております。(10時～18時、臨時休館あり)

問 お問合せ

(公財)久留米文化振興会パート職員 募集

職種/人員 事務補助/9人程度 売店喫茶/2人程度
勤務場所 ①文化振興会事務局 ②野中生涯学習センター
 ③高牟礼会館 ④市民交流センター
 ⑤文化振興会事務局及び久留米シティプラザ内情報サテライト
 ⑥石橋文化センター内楽水亭
勤務時間 ①②③④⑥勤務の場合 1日7.5時間、週5日程度
 ⑤勤務の場合 1日5.5時間、週3～4日程度
雇用期間 2021年4月1日から1年間。以後1年毎に更新あり
 (条件あり。最長3年)
給 与 時給880円～(日曜920円～)。通勤手当あり。年2回賞与あり。

試験日/試験方法

①～⑤ 1次:2月6日(土)/教養試験、適性検査、作文試験
 2次:2月20日(土)/面接試験
 ⑥ 2月13日(土)/作文試験、面接試験
申込期間 ①～⑤ 1月14日(木)～1月28日(木)17時まで。(郵送の場合は必着)
 ⑥ 1月21日(木)～2月9日(火)17時まで。(郵送の場合は必着)
 申込書は、石橋文化センター、同ホームページに準備。
申 込 先 石橋文化センター TEL0942-33-2271 FAX0942-39-7837
 ※受付9:00～17:00、月曜日・年末年始12/28～1/4は休館

久留米市立中央図書館 KURUME CITY CENTRAL LIBRARY

市立図書館で本を借りて、 手書きの「読書手帳」をもらおう(小学生対象)

「読書手帳」は自分が読んだ本を手書きで記録する手帳です。読書の記録は、自分がどんな本を読んだか、どのような感想を持ったかを振り返ることができ、さらに次の読書につなげるきっかけにもなります。

現在、市立図書館では、本を借りた小学生のみなさんに「読書手帳」をお渡ししています(1人1冊まで)。楽しかった本、面白かった本、そして心に残った本をこの手帳に記録してみませんか。

また、市立図書館ホームページではダウンロード版「読書手帳」を掲載しています。こちらはご自宅でプリントアウトして、ご利用ください。



※配布分は数に限りがありますので、なくなり次第終了します。

 **久留米市立中央図書館**
 KURUME CITY CENTRAL LIBRARY
 ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 久留米市野中町970番地1
 TEL:0942-38-7116 FAX:0942-38-7183
 URL: <http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1060manabi/2060library/index.html>

開館時間 (火～金) 10:00～20:00
 (土・日・祝) 10:00～18:00
休 館 日 月曜(祝日は開館)、毎月第4木曜

コラム ——・ 音楽の殿堂 石橋文化ホール

～炎のヴァイオリニスト石田泰尚氏を迎え 上質な音楽をお届け～

石橋文化ホールは、久留米市出身の菊竹清訓氏の設計、CDの父と言われている久留米市出身の中島平太郎氏（NHK技術研究所）らの音響設計によって1963年に開館しました。音響効果にこだわったホールは、半世紀の間、多くの著名なミュージシャンなど様々な人たちが演奏を披露し、多くの方々を楽しませてきました。

昨年は、コロナ禍で、聴き放題のネットサービスやオンラインライブなどいつでもどこでも音楽が楽しめる環境が整ってきました。しかし、音楽を楽しむことは、聴くことだけではありません。演奏家の音楽と真剣に向かい合う表情や情熱を感じるパフォーマンスなど、絶対に生演奏でしか感じる事ができない魅力がコンサートには詰まっています。

11月には、感染症対策を十分に講じ、毎年恒例となっていた「ミュージアムコンサート」を石橋文化ホールで再開しました。演奏家によって奏でられる音楽を間近で体感し味わうことは最大の魅力だと改めて実感しました。

そして、2021年2月には、日本の若手ヴァイオリニストの第一人者・石田泰尚氏によるリサイタルを開催します。超一流の演奏とともにクラシックの名曲をお届けします。演奏技術だけではなく、独特の世界観で観客を魅了する石田氏のパフォーマンスは、ホールでしか感じる事ができない魅力のひとつです。この機会に、普段はあまり聴かない音楽に触れて、幅広い音楽を楽しむきっかけになれば幸いです。

音楽の殿堂・石橋文化ホールで、上質な音楽たちが皆さまをお待ちしております。

〔企画広報課 長谷川 悟一〕



ミュージアムコンサートの様子



石田泰尚 (ヴァイオリン)



半世紀を超える歴史を持つ石橋文化ホール

表紙イラストレーション 藤村のりこ 油彩、水彩、クレパスなど、様々な画材や技法を用いて、個展やグループ展を中心に活動。2009年度久留米市芸術奨励賞（洋画）受賞。

私たちは石橋文化センター・久留米市美術館の事業を応援します。

スペシャルパートナー



オフィシャルパートナー



※ すべての掲載催事の内容については、12月18日現在のものです。主催者等の都合により、変更になる場合もありますので、ご了承ください。

石橋文化ホール／石橋文化会館／文化センター共同ホール

休館日 月曜日（祝日・振替休日は開館）、年末年始（12/28～1/4）

開館時間 9:00～17:00 ※ 園内は年中無休。

交通案内 <バス> 西鉄バス①⑨②②⑤系統 JR久留米駅より約15分、西鉄久留米駅より約5分
「文化センター前」下車 <車> 久留米インターより国道322号線へ車で約10分

駐車場 8:00～22:00 最初の2時間まで200円、以後30分ごとに100円増。
※ ただし30分以内の出庫は無料。
入庫から24時間最大1,000円 ※ 24時間以降30分ごとに100円増
園内利用のバスは、1台500円最長1日まで。（要予約）



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

公益財団法人 久留米文化振興会
839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地
Tel 0942 33 2271 Fax 0942 39 7837
9:00～17:00 月曜休館（祝日は開館）
www.ishibashi-bunka.jp



石橋文化センター公式Facebook
https://www.facebook.com/ishibashibunka